

回城

羊、駝、馬、到る處に群り市街甚だ熱鬧す。露商、印度商の往來する者亦多く、皆廣大なる旅店に寓しつゝ、平日は卸賣を營み、八雜兒パザール即ち市日には、露店を張ること、南路各城皆同一様に出づ。

回城には溫宿縣衙門あり回部貝勒亦之に住す。城の北東二面は數丈の斷崖を成し、市街は崖下に在りて甘泉湧出す。(阿克蘇の所以)人家約六千、內露商アンヂヤン安集延の回

教徒二十八戸、印度商十戸ありと云ふ。又漢城は回城の南約二里、斷崖の南端に位置して人家約八千と稱せらる。崖上は總て臺地をなし、荒漠不毛の沙磧地なるも、崖下は卑濕にして地味肥え、河川溝渠相錯り、耕地水田相連りて、楊柳繁茂し、省内最良の米產地たり。阿克蘇河は市街の西南約十六吉米の處を南流す。

聞く溫宿府城關、及東、西、南、北の四郷合せて人口十萬零八百四十二人、內漢商六十五戸、纏頭商八十八戸、漢回商二十九戸。又溫宿縣城關並に四郷總計八萬五千四百七十二人と云ふ。

氣候は概ね南路の各部と同じきも、雨雪少なく、年中皆無のこと有り。風は西風を黑風、北風を黃風と稱へ、吹く時期一定せず。主産物は米、綿布、毛氈、羊毛等にして

氣候と物産

人口